

# 令和6年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	大阪府	市町村類型	Ⅲ-3	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)	
				財政健全化等	×	歳入総額	90,242,679			83,293,220	実質収支比率			1.3
市町村名	泉佐野市	地方交付税種地	1-5	財源超過	×	歳入総額	89,887,332	82,982,884	経常収支比率	103.0	104.3			
				首都	×	歳入歳出差引	355,347	310,336	(※1)	(103.5)	(105.6)			
				近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	24,734	51,756	標準財政規模	24,888,542	24,476,117			
				中部	×	実質収支	330,613	258,580	財政力指数	0.84	0.86			
人口	令和2年国調(人)	100,131	産業構造(※5)		単年度収支	72,033	-150,156	公債費負担比率	12.6	13.1				
	平成27年国調(人)	100,966			積立金	155,077	245,076	健全化判断比率						
住民基本台帳人口(※7)	増減率(%)	-0.8	第1次	低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-			
	令和07.01.01(人)	99,318		区分	令和2年国調	平成27年国調	積立金取崩し額	0	259,000	連結実質赤字比率	-	-		
	うち日本人(人)	95,798		845	1,006	実質単年度収支	227,110	-164,080	実質公債費比率	7.1	7.6			
	令和06.01.01(人)	99,037		1.9	2.3	標準財政収入額等			将来負担比率	-	8.7			
	うち日本人(人)	96,212	第2次		9,839	10,292	基準財政収入額	16,697,256	16,202,836	資金不足比率(※4)				
	増減率(%)	0.3			22.0	23.8	基準財政需要額	20,042,898	19,607,380					
うち日本人(%)	-0.4	第3次		33,943	31,934	標準税収入額等	21,425,808	20,764,283						
面積(km <sup>2</sup> )	56.51			76.1	73.9	経常経費充当一般財源等	26,897,841	26,627,878						
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	1,772					歳入一般財源等	33,938,288	34,236,685						
世帯数(世帯)	43,864													
職員の状況(※8)														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	55,464,473	56,749,714			
	市区町村長	1	5,934		一般職員	535	1,700,230	3,178	うち公的資金	35,246,508	36,665,470			
	副市区町村長	2	5,476		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	42,732,185	42,883,136			
	教育長	1	5,214		うち技能労務職員	10	33,290	3,329	債務負担行為額(支出予定額)	21,702,325	20,282,808			
	議会議長	1	6,200		教育公務員	27	85,737	3,175	収益事業収入	279,565	367,487			
	議会副議長	1	5,800		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-			
	議会議員	16	5,500		合計	562	1,785,967	3,178	財政調整基金	2,069,203	1,914,126			
					ラスバイレス指数				95.1	積立金現在高	1,394,750	922,977		
										減債基金	1,394,750	922,977		
										その他特定目的基金	17,342,153	15,672,352		
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧(※3)				
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名			
(1)	一般会計	(5)	国民健康保険事業特別会計	(8)	水道事業会計			(10)	泉佐野市田尻町清掃施設組合	(17)	泉佐野市土地開発公社			
(2)	公共用地先行取得事業特別会計	(6)	介護保険事業特別会計	(9)	下水道事業会計			(11)	泉州南消防組合	(18)	泉佐野市文化振興財団			
(3)	病院事業債管理特別会計	(7)	後期高齢者医療事業特別会計					(12)	大阪府都市ポートレース企業団	(19)	泉佐野市ウォーターフロント			
(4)	りんくう公園事業特別会計							(13)	大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(20)	地方独立行政法人りんくう総合医療センター			
								(14)	大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(21)	泉佐野電力			
								(15)	大阪広域水道企業団(水道事業会計)	(22)	泉佐野ガス			
								(16)	大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	(23)	株式会社さのたす			
										(24)	地方独立行政法人泉佐野市行政事務サービスセンター			

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	20,234,761	22.4	18,262,137	70.2	普通税	18,667,961	92.3	307,583	
地方譲与税	217,750	0.2	217,750	0.8	法定普通税	18,241,736	90.2	307,583	
利子割交付金	14,414	0.0	14,414	0.1	市町村民税	6,516,614	32.2	307,583	
配当割交付金	159,702	0.2	159,702	0.6	個人均等割	150,879	0.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	209,949	0.2	209,949	0.8	所得割	4,845,561	23.9	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	488,837	2.4	81,644	
地方消費税交付金	2,589,783	2.9	2,589,783	10.0	法人税割	1,031,337	5.1	225,939	
ゴルフ場利用税交付金	46,462	0.1	46,462	0.2	固定資産税	10,401,240	51.4	-	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	9,940,948	49.1	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	312,275	1.5	-	
自動車税環境性能割交付金	48,705	0.1	48,705	0.2	市町村たばこ税	1,011,607	5.0	-	
法人事業税交付金	408,896	0.5	408,896	1.6	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金等	525,392	0.6	525,392	2.0	特別土地保有税	-	-	-	
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	97,787	0.1	97,787	0.4	法定外普通税	426,225	2.1	-	
定額減税減収補填特例交付金	426,222	0.5	426,222	1.6	目的税	1,566,800	7.7	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	1,383	0.0	1,383	0.0	法定目的税	1,566,800	7.7	-	
地方交付税	3,801,399	4.2	3,340,438	12.8	入湯税	20,401	0.1	-	
普通交付税	3,340,438	3.7	3,340,438	12.8	事業所税	-	-	-	
特別交付税	460,961	0.5	-	-	都市計画税	1,546,399	7.6	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	28,257,213	31.3	25,823,628	99.3	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	13,119	0.0	13,119	0.1	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	283,875	0.3	-	-	合計	20,234,761	100.0	307,583	
使用料	585,684	0.6	138,702	0.5					
手数料	256,924	0.3	-	-					
国庫支出金	10,783,595	11.9	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	3,698,626	4.1	-	-					
財産収入	517,148	0.6	5,938	0.0					
寄附金	18,417,979	20.4	-	-					
繰入金	20,776,450	23.0	-	-					
繰越金	310,336	0.3	-	-					
諸収入	3,096,030	3.4	16,840	0.1					
地方債	3,245,700	3.6	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	122,200	0.1	-	-					
歳入合計	90,242,679	100.0	25,998,227	100.0					

歳入の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	280,793	0.3	-	279,479
総務費	36,422,119	40.5	426,964	5,994,304
民生費	23,631,122	26.3	188,808	10,643,475
衛生費	7,698,861	8.6	13,337	4,317,629
労働費	67,822	0.1	-	24,816
農林水産業費	479,063	0.5	109,797	233,502
商工費	3,657,854	4.1	66,693	779,947
土木費	5,789,993	6.4	3,447,346	2,882,634
消防費	1,569,423	1.7	58,709	1,361,754
教育費	5,428,011	6.0	662,748	2,785,958
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	4,862,271	5.4	-	4,279,443
諸支出名	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳入合計	89,887,332	100.0	4,974,402	33,582,941

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	27,322,786	30.4	15,167,931	13,442,544	51.5
人件費	7,171,753	8.0	5,833,779	5,465,122	20.9
うち職員給	4,260,230	4.7	3,459,784	-	-
扶助費	15,289,312	17.0	5,054,709	3,697,979	14.2
公債費	4,861,721	5.4	4,279,443	4,279,443	16.4
元利償還金	4,861,016	5.4	4,278,738	4,278,738	16.4
うち元金	4,530,941	5.0	3,973,724	3,973,724	15.2
うち利子	330,075	0.4	305,014	305,014	1.2
一時借入金利子	705	0.0	705	705	0.0
その他の経費	57,590,144	64.1	16,856,649	13,455,297	51.5
物件費	12,936,047	14.4	6,073,108	4,574,191	17.5
維持補修費	113,562	0.1	107,076	107,076	0.4
補助費等	13,981,257	15.6	6,456,216	5,267,074	20.2
うち一部事務組合負担金	2,602,222	2.9	2,602,222	2,058,496	7.9
繰出金	4,445,953	4.9	3,469,693	3,398,992	13.0
積立金	23,073,101	25.7	642,592	-	-
投資・出資金・貸付金	3,040,224	3.4	107,964	107,964	0.4
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,974,402	5.5	1,558,361	-	-
うち人件費	119,094	0.1	119,094	-	-
普通建設事業費	4,974,402	5.5	1,558,361	-	-
うち補助	1,605,294	1.8	42,590	-	-
うち単独	3,309,636	3.7	1,513,235	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳入合計	89,887,332	100.0	33,582,941	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 大阪府泉佐野市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	88,056	87,700	355	331	343	46,421	
2 公共用地先行取得事業特別会計	873	873	-	-	213	2,439	
3 病院事業債管理特別会計	2,962	2,962	-	-	-	8,804	
4 りんく公園事業特別会計	236	236	-	-	190	43	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296	</						

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

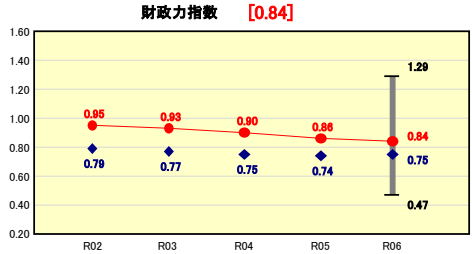
大阪府泉佐野市

人口	99,318人 (R7.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	95,798人 (R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	56.51km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.1%
歳入総額	90,242,679千円	将来負担比率	-%
歳出総額	89,887,332千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3
実質収支	330,613千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3
標準財政規模	24,888,542千円		
地方債現在高	55,464,473千円		



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

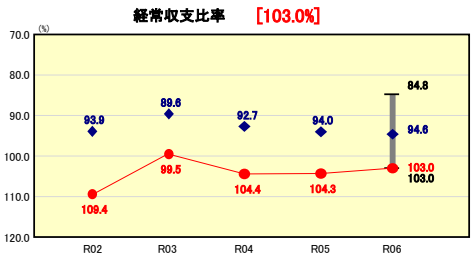
#### 財政力



**財政力指数の分析欄**

関西国際空港(以下「空港」)の関連事業所等からの固定資産税等により類似団体平均を上回る税収があるため、0.84となっており、近年ほぼ横ばいで推移している。

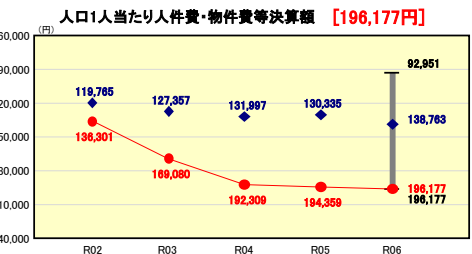
#### 財政構造の弾力性



**経常収支比率の分析欄**

経常収支比率は103.0%と類似団体平均を上回っている。歳出面では、公債費が著しく高い水準となっており、過去に空港関連の都市基盤整備等を進め、その財源に地方債を活用したことが影響している。一方歳入面では、地方交付税で減ったものの、市税、地方特例交付金、地方消費税交付金でそれぞれ増となったことから、全体の金額としては増加した。このことから、経常収支比率は前年度と比べ、1.3ポイント減少した。今後も、令和6年12月に策定した中期財政運営方針(令和7~11年度)に基づき、地方債の繰上償還や遊休土地の積極的な売却など、今後も健全な財政運営に努め、財政構造の弾力性について改善を図る。

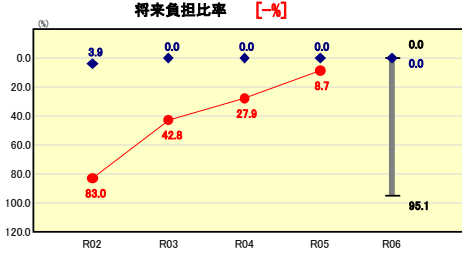
#### 人件費・物件費等の状況



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に人件費を要因としており、正職の退職手当等各種手当が増加したためである。今後も中期財政運営方針及び定員適正化計画等に基づき、事務の委託化による人件費と物件費の精査に努める。

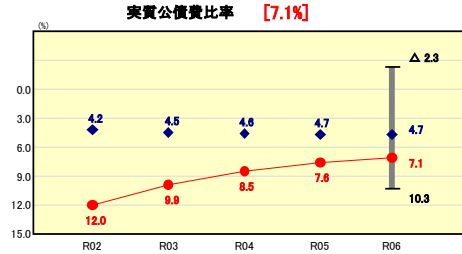
#### 将来負担の状況



**将来負担比率の分析欄**

地方債残高の減少等により、前年度と比べ8.7%改善し、類似団体平均と同値となっている。今後も公債費等義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め、財政の健全化に努める。

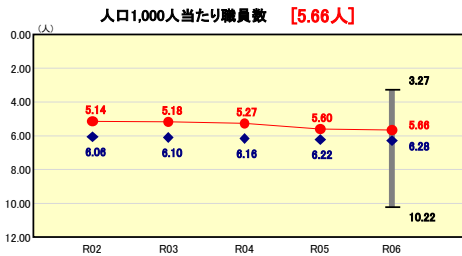
#### 公債費負担の状況



**実質公債費比率の分析欄**

過去に空港関連の都市基盤整備等を進め、その財源に地方債を活用した影響で、類似団体と比べて公債費の負担が重くなっている。令和6年度も前年度に引き続き、全体の元金償還額が発行額を上回り、実質公債費比率は0.5ポイント改善した。今後も中期財政運営方針に基づき、計画的な地方債の発行を行うことで、公債費の抑制に努める。

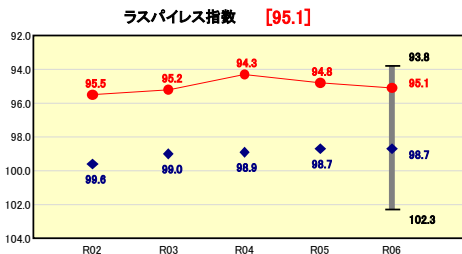
#### 定員管理の状況



**人口1,000人当たり職員数の分析欄**

過去に空港関連の都市基盤整備等の事業推進や空港を管轄する消防業務のために必要な人員を確保したことにより、類似団体内平均値と比較して高い水準となっていたが、消防事務を一部事務組合(泉州南消防組合)へ移管した平成24年度から同平均値と比較して低い水準となった。令和6年度は、一般行政職員数増のため前年度より0.06人増加している。今後も中期財政運営方針及び定員適正化計画等に基づき、より適正な定員管理に努める。

#### 給与水準(国との比較)



**ラスパイレス指数の分析欄**

行財政改革推進計画に基づき、平成13年1月から24ヶ月昇給延伸を行ったこと及び平成23年度より給与カット等を行ってきた。平成27年4月1日から段階的に削減率を緩和したことで上昇し、令和6年度は前年度より0.3ポイント改善したが、依然として類似団体平均を大きく下回る低水準にある。

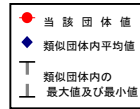
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

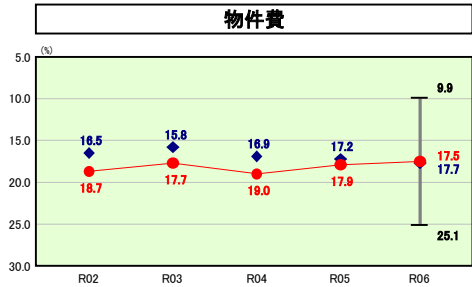
大阪府泉佐野市

## 経常収支比率の分析

人口	99,318	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	95,798	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	56.51	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.1	%
歳入総額	90,242,679	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	89,887,332	千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実質収支	330,613	千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	24,888,542	千円			
地方債現在高	65,464,473	千円			



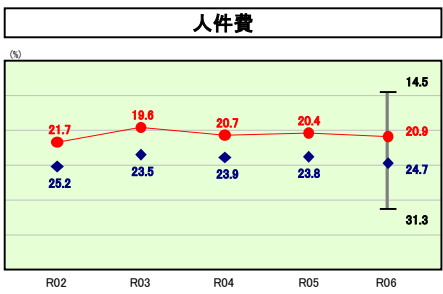
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**類似団体内順位** 33/62 **全国平均** 15.6 **大阪府平均** 13.8

**物件費の分析欄**

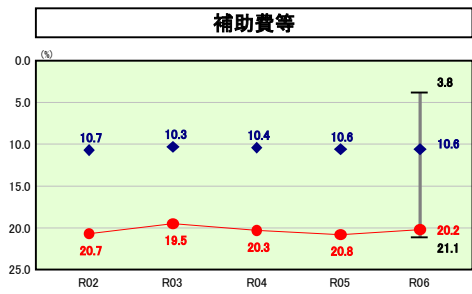
令和6年度は、窓口業務委託料等の減少により前年度と比べて0.4ポイント減少し、類似団体平均値を下回った。新たに発生する委託料については特に注意を払いながら、物件費全体の精査に努める。



**類似団体内順位** 8/62 **全国平均** 26.6 **大阪府平均** 26.5

**人件費の分析欄**

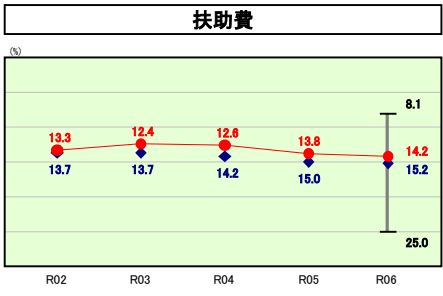
令和2年度の会計年度任用職員制度の開始に伴い、令和6年度においても実質職員給全体で増加し、前年度と比べて0.5ポイント増加したが、人員適正化等の取組により類似団体平均を下回っている。  
 今後も中期財政運営方針及び定員適正化計画等に基づき、人件費の適正化に努める。



**類似団体内順位** 61/62 **全国平均** 10.7 **大阪府平均** 9.6

**補助費等の分析欄**

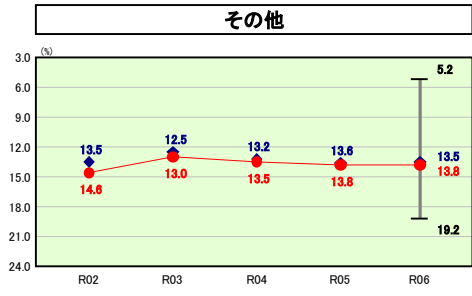
補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、泉州南消防組合、泉佐野市田尻町清掃施設組合及び地方独立行政法人りんくう総合医療センターへの負担金などが多額になっているためである。引き続きそれぞれ自立的・効率的な経営を維持するため、これらを含めた補助費等全体の精査に努める。



**類似団体内順位** 29/62 **全国平均** 13.4 **大阪府平均** 19.7

**扶助費の分析欄**

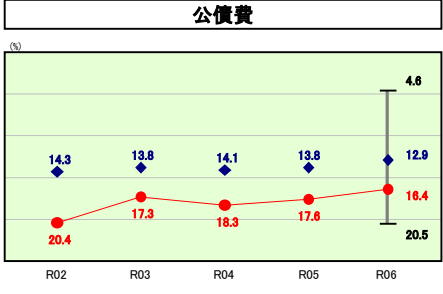
障害者福祉に係る扶助費などが増加し、前年度と比べて0.4ポイント増加した。類似団体平均を下回る水準であるが、各種扶助費の支給については、今後も増加すると見込まれるため、適正化に努めていく。



**類似団体内順位** 34/62 **全国平均** 12.5 **大阪府平均** 13.4

**その他の分析欄**

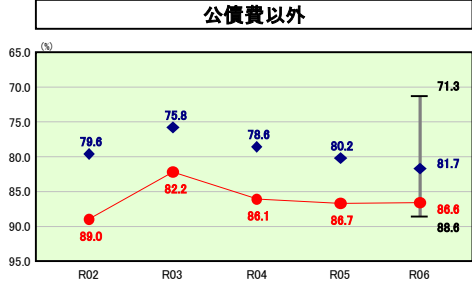
前年度と同値となっているものの、依然類似団体平均と比較高い水準となっている。これは、後期高齢者医療事業特別会計繰出金が増加したことによるものである。



**類似団体内順位** 51/62 **全国平均** 15.0 **大阪府平均** 12.2

**公債費の分析欄**

過去に空港関連の都市基盤整備等を積極的に進め、その財源に地方債を活用した影響で、地方債の元利償還金が膨らんでおり、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を3.5ポイント上回っている。  
 今後も中期財政運営方針に基づき、計画的な地方債の発行を行うことで、公債費の抑制に努める。



**類似団体内順位** 53/62 **全国平均** 78.8 **大阪府平均** 82.0

**公債費以外の分析欄**

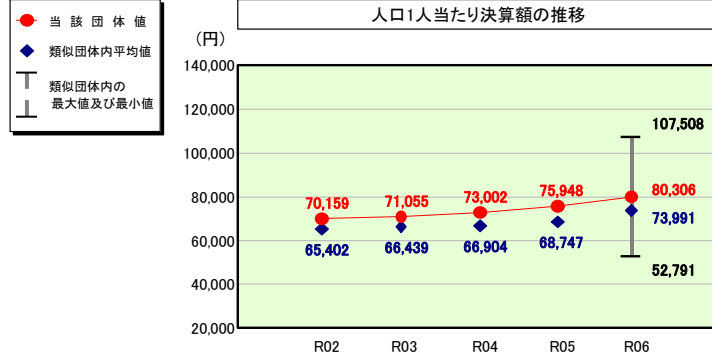
公債費以外に係る経常収支比率は、令和6年度は分母の歳入全体の増加などにより、0.1ポイント減少した。  
 構成比は高い方から順に、人件費、補助費等、物件費、扶助費となっている。構成比において高い割合を占める各費目について、補助費等については類似団体平均を上回っているため、引き続き精査を行い比率の改善に努める。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

大阪府泉佐野市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

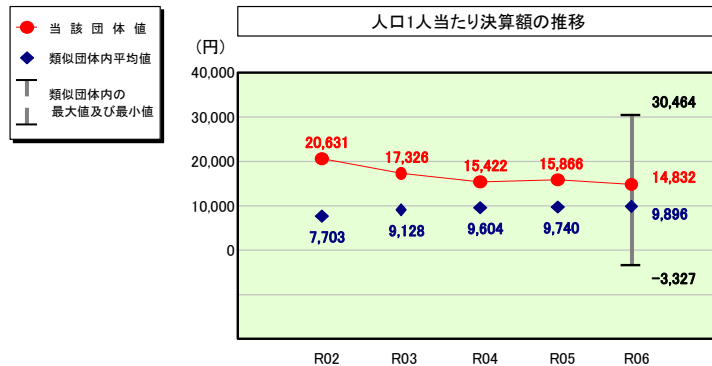
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	7,171,753	72,210	68,274	5.8
一部事務組合負担金(補助費等)	1,176,655	11,847	4,860	143.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	15,822	159	567	▲72.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	16	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	349,095	3,515	2,777	26.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	119,094	1,199	1,330	▲9.8
▲退職金	▲856,551	▲8,624	▲3,833	125.0
合計	7,975,868	80,306	73,991	8.5

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.66	6.28	▲0.62
ラスパイレス指数	95.1	98.7	▲3.6

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

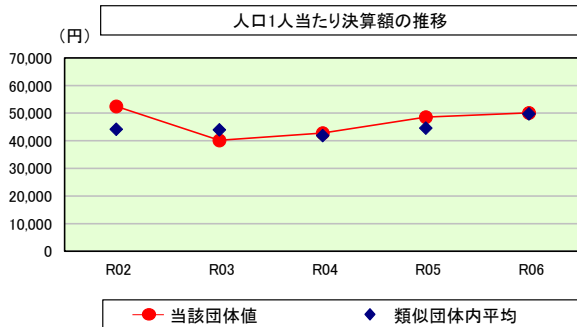
### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,989,272	60,304	32,402	86.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	16	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	738,460	7,435	5,520	34.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	82,357	829	1,296	▲36.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	9,392	95	571	▲83.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲2,269,039	▲22,846	▲6,093	275.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲3,077,319	▲30,985	▲23,816	30.1
合計	1,473,123	14,832	9,896	49.9

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
R02	5,230,251	52,480	▲8.6	44,161	3.1	▲11.7
うち単独分	3,214,017	32,249	▲34.0	23,644	3.1	▲37.1
R03	3,970,175	40,168	▲23.5	43,955	▲0.5	▲23.0
うち単独分	2,870,291	29,040	▲10.0	21,318	▲9.8	▲0.2
R04	4,219,613	42,819	6.6	41,921	▲4.6	11.2
うち単独分	2,726,613	27,669	▲4.7	21,655	1.6	▲6.3
R05	4,807,965	48,547	13.4	44,585	6.4	7.0
うち単独分	3,131,987	31,624	14.3	23,077	6.6	7.7
R06	4,974,402	50,086	3.2	49,779	11.6	▲8.4
うち単独分	3,309,636	33,324	5.4	28,921	25.3	▲19.9
過去5年間平均	4,640,481	46,820	▲1.8	44,880	3.2	▲5.0
うち単独分	3,050,509	30,781	▲5.8	23,723	5.4	▲11.2

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

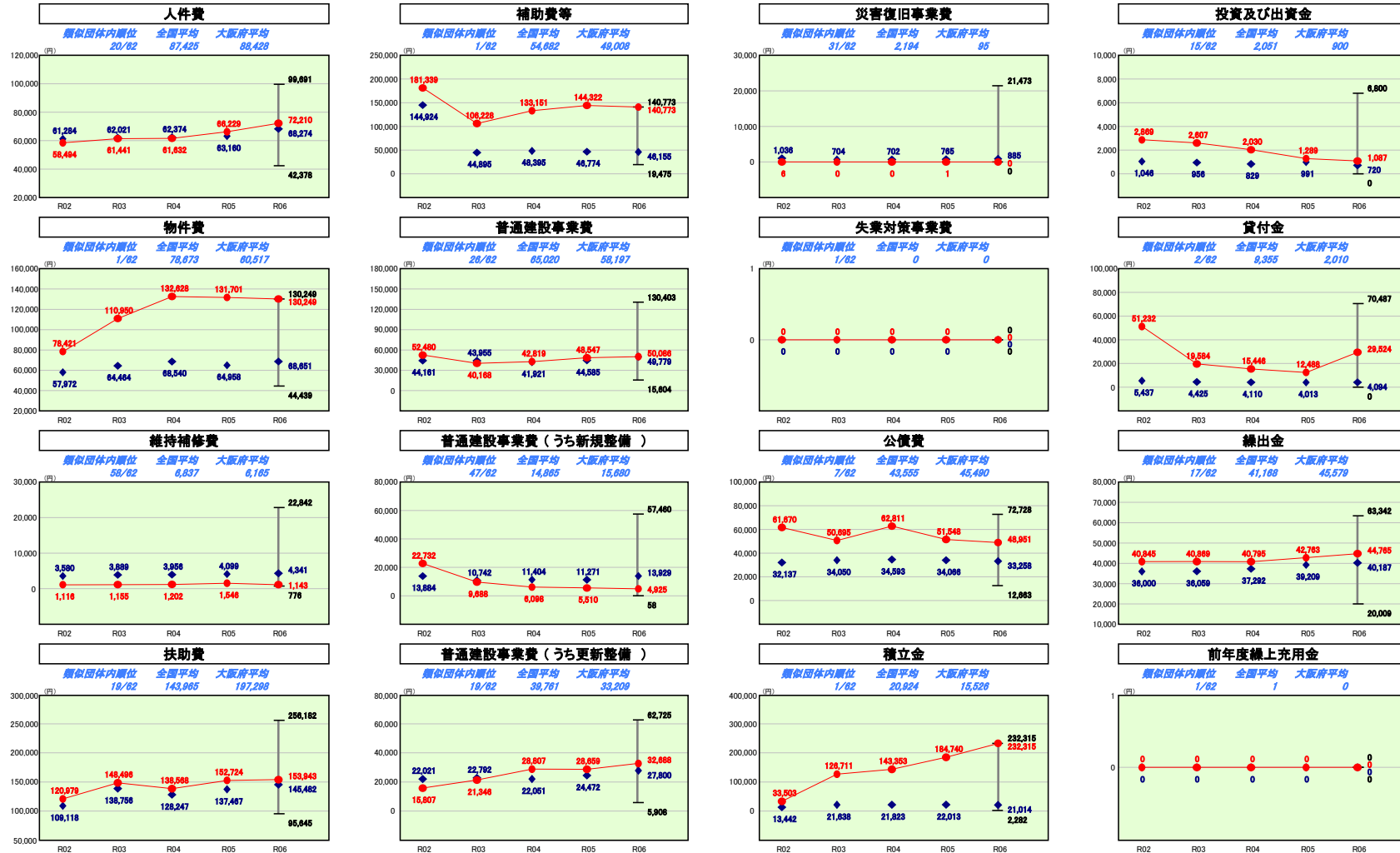
令和6年度

大阪府泉佐野市

人口	99,318人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	96
うち日本人	95,798人(R7.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	96
面積	56.61km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.1	96
歳入総額	90,242,679千円	将来負担比率	-	96
歳出総額	99,887,332千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実質収支	330,613千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	24,888,542千円			
地方債残高	55,464,473千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
┌ 類似団体内の  
└ 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析

歳出決算総額は、住民一人当たり905,046円となっている。主な構成項目である物件費は、住民一人当たり130,249円であり、前年度から比較すると1.1ポイント減少しているものの、依然類似団体平均を超える高い水準で推移している。これはふるさと応援寄附金に係る経費、各種委託料等が影響している。新たに発生する委託料については特に注意を払いながら、物件費全体の精査に努める。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

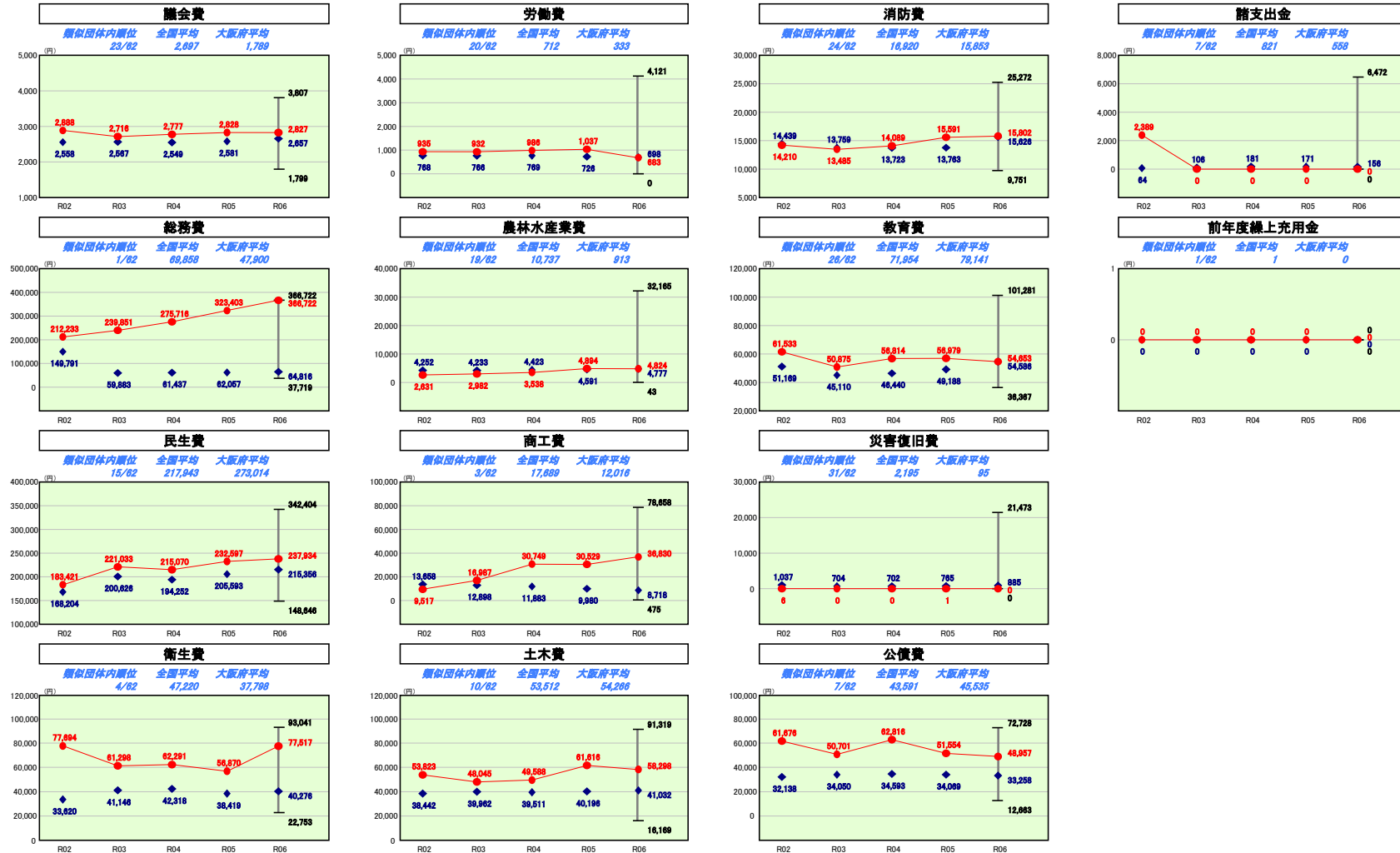
令和6年度

大阪府泉佐野市

人口	99,318人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	96	
うち日本人	95,798人(R7.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	96	
面積	56.51km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.1	96	
歳入総額	90,242,679千円	将来負担比率	-	96	
歳出総額	89,887,332千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3	R03 Ⅲ-3	R04 Ⅲ-3
実質収支	330,613千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3	R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	24,888,542千円				
地方債現在高	55,464,473千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 目的別歳出の分析値

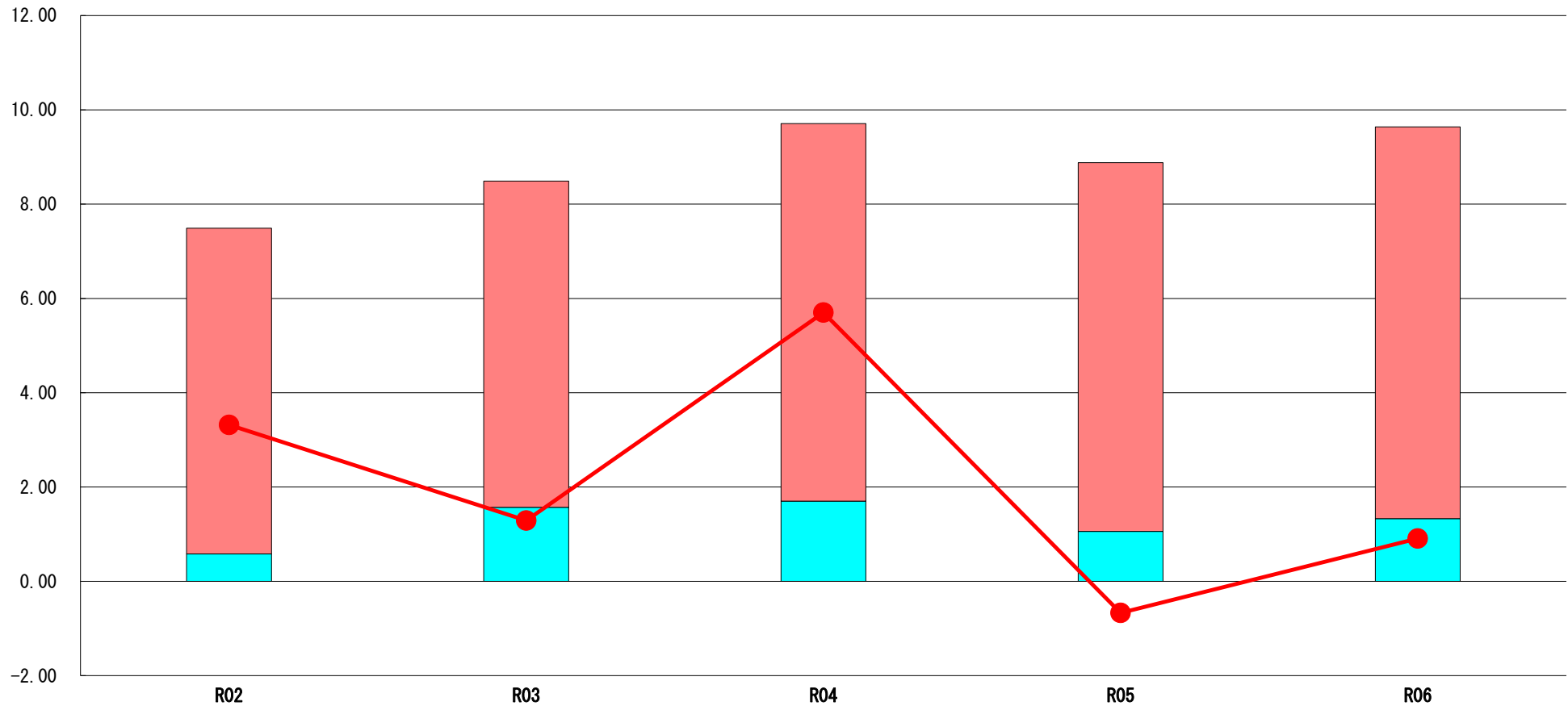
総務費は、住民一人当たり366,722円となっている。類似団体平均と比べ高止まりしているのは、主にふるさと応援寄附金事業に係る経費等によるものである。前年度と比べ、住民一人当たり4,319円増加し、類似団体平均を大きく上回っている。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和6年度

大阪府泉佐野市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		6.91	6.92	8.01	7.82	8.31
 実質収支額		0.58	1.57	1.70	1.06	1.33
 実質単年度収支		3.32	1.29	5.70	▲ 0.67	0.91

## 分析欄

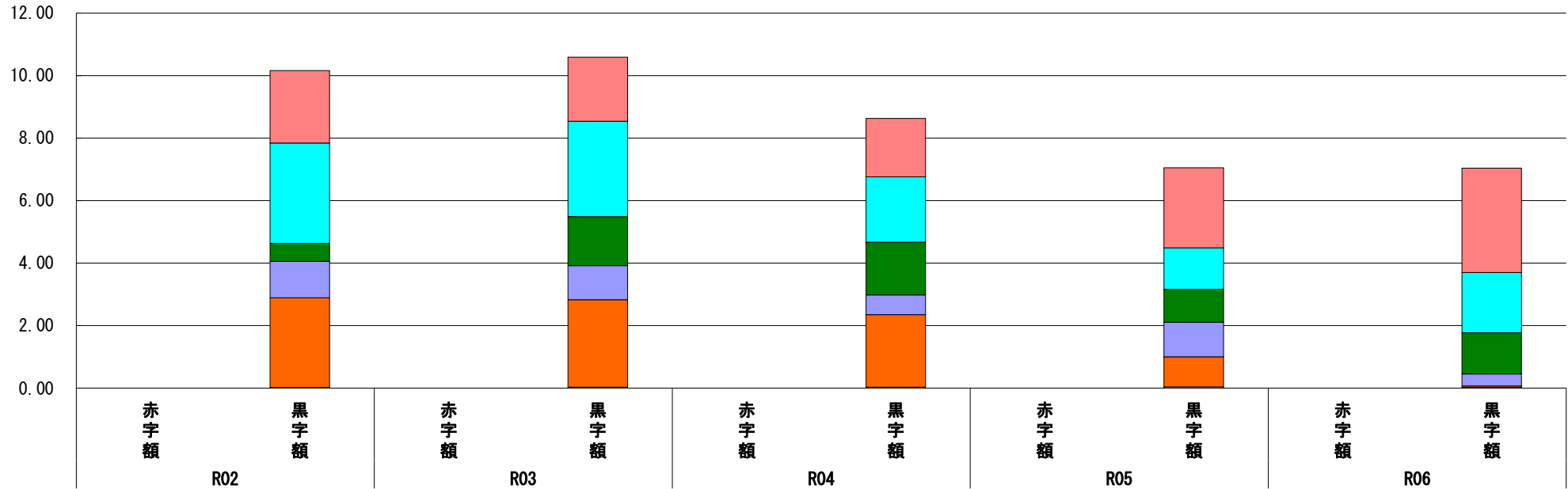
財政調整基金残高は、令和5年度決算黒字の1/2を積立て、前年度と比較し増加している。  
 また、特別職の給与カット、事業の見直しなどによる歳出削減のほか、遊休土地の積極的な売却、ふるさと納税の推進、空港連絡橋利用税の徴収、ネーミングライツなどの歳入確保に努めたことにより、引き続き3.3億円の黒字となっており、前年度と比較し実質収支額が約0.7億円の増、標準財政規模に占める割合では0.27ポイントの増となった。また、実質単年度収支の標準財政規模に占める割合では、基金の積立額が増加したことなどから、1.58ポイントの増となっている。  
 今後も令和6年12月に策定した、中期財政運営方針に基づき、計画的に安定した財政運営を行っていく。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和6年度

大阪府泉佐野市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
水道事業会計		2.32	2.05	1.87	2.56	3.34
下水道事業会計		3.21	3.05	2.09	1.33	1.93
一般会計		0.57	1.57	1.69	1.05	1.32
介護保険事業特別会計		1.17	1.09	0.63	1.11	0.38
国民健康保険事業特別会計		2.87	2.80	2.32	0.96	0.05
後期高齢者医療事業特別会計		0.02	0.03	0.03	0.04	0.02
公共用地先行取得事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
病院事業債管理特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

平成21年4月1日に施行された財政健全化法に基づく健全化判断比率において、本市は平成20年度決算における連結実質赤字比率が26.42%（早期健全化基準17.44%）と早期健全化基準以上となった。

本市は、財政健全化法施行前の地方財政再建促進特別措置法に規定する財政再建準用団体に陥らないよう普通会計の収支改善を最優先に取り組んできた結果、平成18年度に普通会計において実質収支の黒字転換を達成したが、特別会計等の根本的な改善措置を講じるまでは至っていなかった。

そのような状況下、財政健全化法において、新たに設けられた連結実質赤字比率では、宅地造成事業会計における資金不足額約66億円により、連結実質赤字比率が早期健全化基準以上となったものである。また、同会計の資金不足は現病院（りんくうタウン）建設の財源として、旧病院跡地（上町）の売却収入を充てることとし、将来の公共施設等の整備のために宅地造成事業に売却したものであるが、景気低迷による事業計画の頓挫などにより、その間の金利負担の累積と地価下落による売却差損の発生で生じたものである。

なお、同会計は既に役割を終えていることから、平成21年度に第三セクター等改革推進債を活用して、これを廃止し、一般会計の負債として引継ぐことで同年度の決算で連結実質赤字額を解消した。

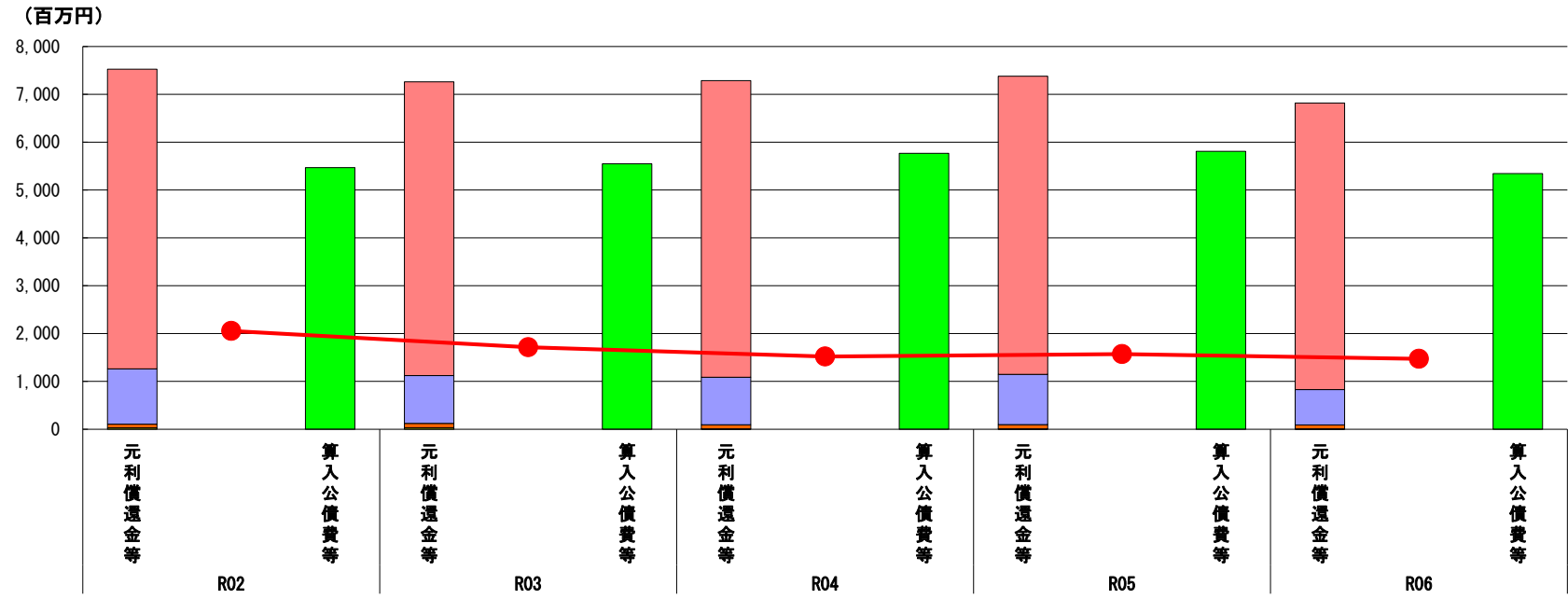
平成22年度及び平成23年度決算では、一般会計で赤字額が生じたものの、連結実質赤字額は生じておらず、平成25年度決算で早期健全化団体から脱却した。

令和6年度決算は、特別職の給与カット、事業の見直しなどによる歳出削減のほか、遊休土地の積極的な売却、ふるさと納税の推進、空港連絡橋利用税の徴収、ネーミングライツなどの歳入確保に努めたことにより、普通会計の実質収支額は引き続き黒字となっている。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

大阪府泉佐野市



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等(A)	元利償還金		6,262	6,139	6,201	6,233	5,989
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,155	1,002	992	1,052	738
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		77	89	86	87	82
	債務負担行為に基づく支出額		31	32	9	9	9
	一時借入金の利子		0	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		5,470	5,548	5,769	5,810	5,346
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,055	1,714	1,519	1,571	1,472

**分析欄**

空港開港に合わせ、遅れていた都市基盤整備を進め、その財源に地方債を活用したことにより元利償還金等の額が非常に大きい。これは、総合文化センターの建設及び空港対岸の「りんくうタウン」の造成に関して雨水整備を最優先に進めたことにより公営企業債（下水道事業会計）の元利償還金に対する繰入金が多額となっていることが主な要因である。

令和6年度は公営企業債の元利償還金に対する繰入金金の増により、実質公債費比率の分子となる額が減少している。今後も中期財政運営方針に基づき、計画的な地方債の発行を行うことで、公債費の抑制に努める。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高(D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額(E)		-	-	-	-	-

**分析欄**

該当なし。

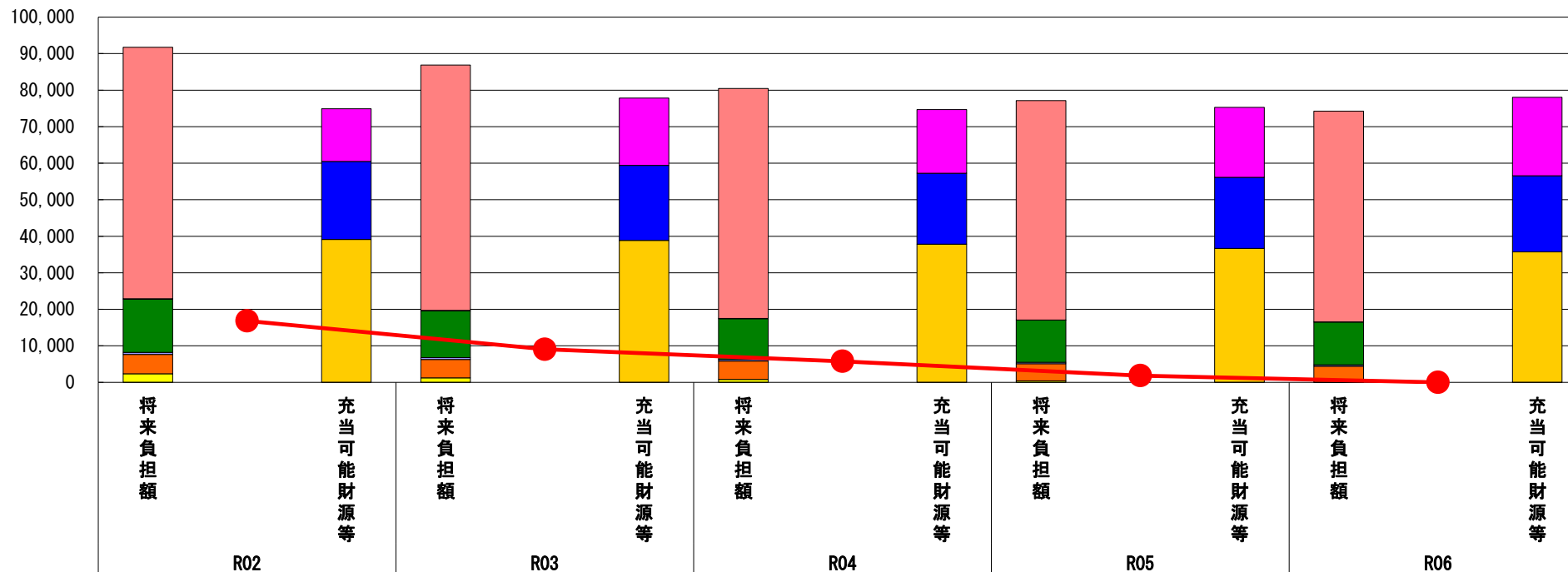
(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。  
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

大阪府泉佐野市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		68,842	67,182	62,936	60,042	57,706
	債務負担行為に基づく支出予定額		112	104	73	64	56
	公営企業債等繰入見込額		14,567	12,788	11,138	11,522	11,695
	組合等負担等見込額		574	519	472	397	381
	退職手当負担見込額		5,259	5,074	5,005	4,699	4,406
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,366	1,209	809	409	11
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		14,410	18,425	17,408	19,148	21,477
	充当可能特定歳入		21,368	20,529	19,440	19,475	20,827
	基準財政需要額算入見込額		39,119	38,858	37,823	36,664	35,733
(A) - (B)	将来負担比率の分子		16,824	9,063	5,762	1,846	▲ 3,782

## 分析欄

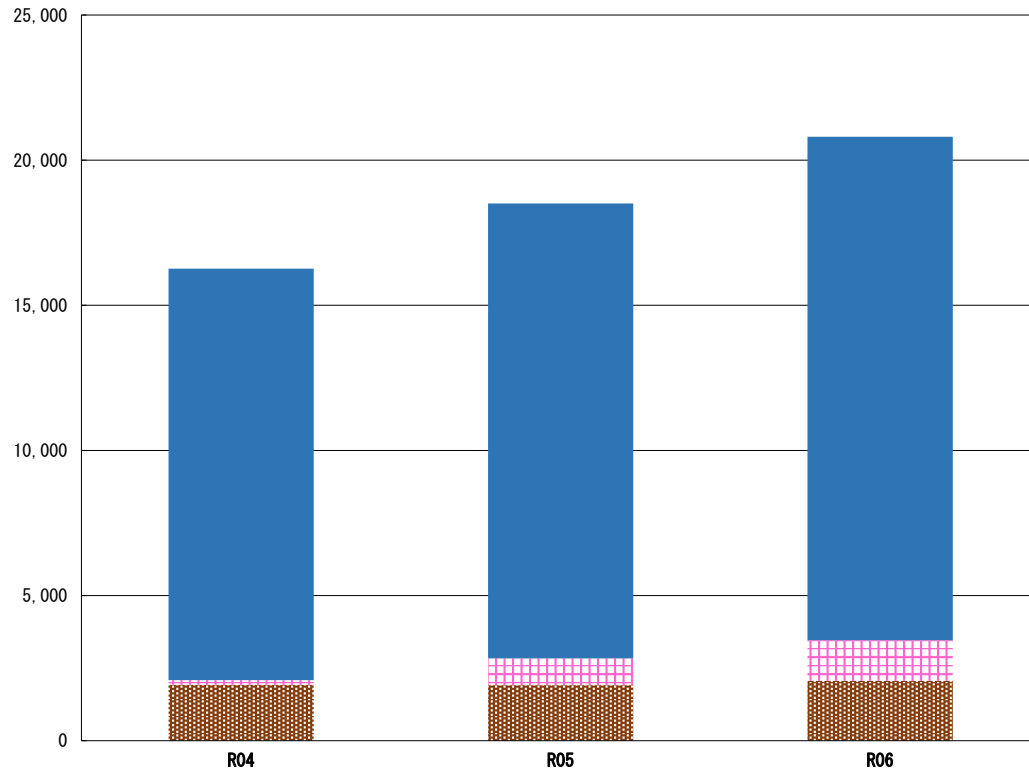
空港開港に合わせ、遅れていた都市基盤整備を進め、その財源に地方債を活用したことから多額の地方債総額を抱えることとなった。

これにより将来負担比率は、平成20年度決算で393.5%（早期健全化基準350.0%）と早期健全化基準以上となった。この主な要因は、上記の地方債残高（表中では、一般会計等に係る地方債の現在高）751億円と下水道事業会計・病院事業会計に係る公営企業債等繰入見込額約335億円によるものである。早期健全化団体となった平成20年度以降、平成21年度に宅地造成事業会計廃止で65.6億円、平成22年度に市立泉佐野病院の地方独立行政法人化で43.5億円の第三セクター等改革推進債を発行したため、一般会計等に係る地方債の現在高は平成23年度まで増加した。しかしながら、宅地造成事業会計を廃止することで連結実質赤字額を解消し、投資事業を精査し、新規の地方債の発行を抑制していることで、将来負担比率の分子となる額は減少傾向となっている。

令和6年度は地方債残高が約23.4億円減少したことなどで将来負担比率の分子が約56.3億円減少したため、将来負担比率は8.7ポイント減少した。地方債残高は依然として高水準で推移するため、中期財政運営方針に基づき、計画的な地方債の発行とすることで、更なる比率の改善に努める。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		1,928	1,914	2,069
減債基金		159	923	1,395
その他特定目的基金		14,172	15,672	17,342
公共施設整備等基金		6,571	6,638	7,914
福祉基金		2,075	2,178	2,419
教育振興基金		2,314	2,344	1,897
地域経済振興基金		843	1,165	1,508
魅力創造発信基金		515	664	1,136
基金残高合計		16,259	18,509	20,806

令和6年度

大阪府泉佐野市

### 基金全体

(増減理由)

ふるさと応援寄附金等により23,073百万円を積み立てた一方、ふるさと応援寄附金の目的に応じた事業に20,776百万円取り崩したことから、基金全体としては2,297百万円の増となった。

(今後の方針)

中期財政運営方針に基づき、財政調整機能を有する基金の残高を可能な限り保持していくことで、安定的な財政運営を目指す。

### 財政調整基金

(増減理由)

令和5年度黒字の1/2以上となる155百万円を積み立て、取り崩しはなく、令和6年度末残高は155百万円増加した。

(今後の方針)

安定した財政運営を行っていくために、基金残高を保持していく。

### 減債基金

(増減理由)

公共用地先行取得事業特別会計からの買戻し、交付税追加交付等により472百万円を積み立て、取り崩しはなく、令和6年度末残高は472百万円増加している。

(今後の方針)

中期財政運営方針に基づき、地方債残高を令和7年度には標準財政規模の約2.5倍の600億円以下とするため、減債基金を活用し計画的に繰上償還を実施していく。

### その他特定目的基金

(基金の使途)

- 【広報公聴基金】広報及び公聴業務の円滑な運営と充実を図る経費に充当。
- 【国際交流振興基金】国際化の進展に伴い、国際交流の振興を図る経費に充当。
- 【職員福利厚生基金】職員の福利厚生に要する経費に充当。
- 【公共施設整備等基金】公共施設の整備を図るため並びにふるさと応援寄附金事業に要する経費及びふるさと応援寄附者が指定した事業に要する経費に充当。
- 【福祉基金】社会福祉活動の推進に要する経費に充当。
- 【環境衛生事業基金】環境衛生事業の推進に係る経費に充当。
- 【公園等整備基金】公園、広場及び緑地の整備に要する経費に充当。
- 【市営住宅整備基金】市営住宅の整備を図る経費に充当。
- 【地域経済振興基金】地域経済の充実に要する経費に充当。
- 【自治振興基金】地域における自治活動の振興と住民自治の促進を図る経費に充当。
- 【教育振興基金】スポーツの振興、図書の実施その他教育の振興に要する経費に充当。
- 【森林環境整備基金】森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費に充当。
- 【退職手当基金】職員の退職手当の支払に要する経費に充当。
- 【災害セーフティ基金】自然災害をはじめ感染症等の危機から市民の生命及び財産を守るとともに、支援活動、復旧対策等に要する経費に充当。
- 【公益活動応援基金】地域の各種団体が自主的に実施する地域の活性化や課題の解決に向けた公益活動への助成に要する経費に充当。
- 【企業版ふるさと納税基金】まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に要する経費に充当。
- 【泉佐野市魅力創造発信基金】魅力創造発信に要する経費に充当。
- 【奨学金基金】奨学金に要する経費に充当。
- 【豊かな海づくり基金】豊かな海づくりに要する経費に充当。

(増減理由)

ふるさと応援寄附金を積み立てたことで増加した。

(今後の方針)

ふるさと応援寄附金を目的に応じた事業に取崩す。